



11/11 子ども支援オフィスを視察しました



12/4 県などの支援により復活した「福岡国際マラソン」レセプションに参加しました



1/8 地域のほうけんぎょう・新年会に参加しました



1/11 3年ぶりの「早良区・新年のつどい」



1/22 福岡県男女共同参画推進連絡会議（ふくおかみらいねっと）の学習会にて「福岡県議会関係ハラスメント根絶条例」の講師として



1/27 天神キャリア塾「～私たちの暮らしをよくするために～女性議員の挑戦」でパネリスト参加



3/8 「国際女性デー」日中平和友好条約45周年記念「国際婦人デー」祝賀会

後藤香織

プロフィール

1979年 大分県日田市生まれ
 1998年 大分県立日田高校 卒業
 2002年 愛知教育大学 教育学部（総合理学コース）卒業
 大学卒業後、短大、専門学校にて勤務
 2014年 ふくおか女性いきいき塾 3期生
 2018年 女性のための政治スクール 修了
 2019年 福岡県議会議員 初当選
 2023年 福岡県議会議員 2期目当選
 南庄在住、夫と子ども3人、義父母の7人家族

役職

福岡県議会 民主県政クラブ県議団 所属
 ●ワンヘルス・地方分権調査特別委員会 副委員長
 ●県民生活商工委員会 委員
 ●オイスカ国際活動促進福岡県議員連盟 理事
 ●福岡県文化議員連盟 幹事
 ●ふくおか県民文化祭実行委員
 ●福岡県日中友好協会 副理事長
 ●西区野球連盟 顧問
 ●福岡県女性議員ネットワーク 役員

福岡県議会 民主県政クラブ県議団
 会派控室

〒812-8574 福岡市博多区東公園7-7県議会内
 TEL 092-643-3804 FAX 092-622-6203

立憲民主党



福岡県議会議員（福岡市早良区）

後藤香織 県議会報告

後藤香織 県政事務所

〒814-0022 福岡市早良区原3丁目17-38 五十三萬石ビル 2F
 TEL 092-832-6807 FAX 092-832-6808
 E-mail rikken.gotokaori@gmail.com



www.gotokaori.com



@gotokaori.sawara



@gotokaori.official



友だち追加

2023年4月9日投開票の福岡県議会議員選挙・福岡市早良区選挙区におきまして、20,042票を頂き、2期目に進むことができました。日頃から私を支えてくださる皆さまに感謝の気持ちでいっぱいです。この期間中も多くの声を聞かせていただき、2期目の重責を感じております。1期目の任期は4月29日まで。翌30日からは2期生となります。これからも、皆さまの声に寄り添い、県政に届けるため、真摯に、実直に頑張っております。引き続き、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

福岡県議会議員
 後藤香織

福岡県議会議員選挙（福岡市早良区）定員3 投票率40.93%（前回より約7%減）

当	ごとうかおり	立民	現	当選:2回目	20,042 (28.2%)
当	おおた 満	自民	元	当選:2回目	19,124 (27.0%)
当	新開 まさひこ	公明	現	当選:7回目	16,883 (23.8%)
	古川 ゆうや	無	新		14,902 (21.0%)



福岡県議会議員選挙 投票率の推移



TV放映のお知らせ

4/30(日) NHKスペシャル
 シリーズ性差革命(時間未定)にて、
 私の議員としての活動などが
 番組内にて放映されます。
 ぜひご覧ください!

福岡県議会 2月定例会報告

任期最後となる2023年2月定例会は、2月20日から3月20月までの29日間の会期で開かれました。開会日に来年度の予算議案20件と本年度の補正予算議案1件、条例議案20件など計57議案が提案され、2月28日には本年度の補正予算議案12件、条例議案1件など計24議案が追加提案されました。代表質問、各常任委員会、予算特別委員会にて審議を行い、早期議決を求められた24議案は3月7日に、その他の57議案は定例会閉会日の3月20日にいずれも本会議で議決されました。

2023.3.2 一般質問しました!

保育サービスの充実について

誰でも、日常生活上の突発的な事情や社会参加などで一時的に保育を必要とする場合などに、利用できるベビーシッター利用のための支援事業を開始し、その補助を検討してみてはいかがでしょうか?

一時預かりに対応する施設も増加し、日常的に保育を利用しない方でも活用できる環境は整ってきている。県としては、今後とも、市町村と連携し、一時預かりの実施施設を増やすなど、子育てしやすい環境を整えてまいります。

要望 ベビーシッターをより利用しやすい体制づくりを!

イギリス等では「ナニー」と呼ばれる家庭訪問型の保育サービスを提供する、住み込み等で子どもの教育や成長に継続的にかかわるシステムもあり、子どもを預けたり、親以外が子育てに関わることが当たり前になっています。日本にはこういった常識がまだ形成されておらず、ベビーシッターを利用する際には「母親がさぼっている」ような雰囲気があり、利用をためらう声をよく聞きます。

また、費用の面でも、例えば3時間で約6,000円~1万円程度であり、利用には壁が高いのが現状です。ベビーシッターは、多胎児、ひとり親家庭や障がい児保育、病児・病後児等、これまで施設での預かりでは、フォローできなかった保育を担っている面もあります。すでに東京都ではベビーシッター利用の経費を都が補助しています。引き続き、取り組んでまいります。



手話言語条例が制定されました!!
聴覚に障がいのある人が安心して生活できる共生社会の実現を目指して、手話を言語の1つと位置づけ普及を図ります。
・耳の不自由な人が乳幼児のころから家族とともに手話を学ぶことができる機会を確保
・切れ目のない相談支援体制を整備
・手話への理解促進を図るため啓発活動
・手話通訳者やその指導者の養成

投票率向上の取組について

選挙公報のインターネット公開について、議員が選挙公約を言いっぱなしにしないよう、任期途中でも有権者が議員の公約を確認できるようにすべき。インターネット公開後のその後も継続して公開を続けるべきと考えるが、見解は?

選挙管理委員会 県選管では、国及び県の選挙において、その都度開設する特設ホームページにおいて、投票日の1か月後まで、投・開票速報の結果と併せて選挙公報を掲載している。その後は、国の通知を踏まえ、選挙管理委員会の記録用ホームページに、選挙公報のほか、投票所に利用した施設の種別など投・開票に係る市町村選管からの情報、選挙運動費用に係る候補者からの情報等を掲載している。取りまとめに一定の時間を要するが、選挙結果の情報公開に引き続き取り組んでまいります。

要望 投票所について、県立大学での新たな設置や、県立高校でも増やすなど、投票しやすい環境づくりを!!

今回は知事選が県議選と同時に行われたい初めての県議会議員選挙となり、これまでも増して低投票が予想されるため、投票率向上の取組について質問しました。大型商業施設への期日前投票の設置、記号式投票の導入、選挙支援カード、選挙広報のインターネット公開などについて、推進の立場から聞きました。現在の投票行動を見ても、今の公選法は時代にあっていないと感じています。結果、今回の県議選は、35.5%と、過去最低を更新しました。

低投票は、一般的に、一部の組織、団体、世襲など既得権を持つ後援会のある方に有利と言われており、しっかり民意を汲み取り、多様な県民の意見を県政に反映させるためには、私たち議員はもちろんのこと、県も真剣に投票率を上げる取組が必要であると考えます。

質問内容の詳細については、後藤香織オフィシャルホームページ、または福岡県議会ホームページにて動画、検索ができますので、ぜひご覧ください。



県政を身近に! 議員活動の見える化を進めます!

2023年度 (令和5年度) 予算の一部をご紹介します。

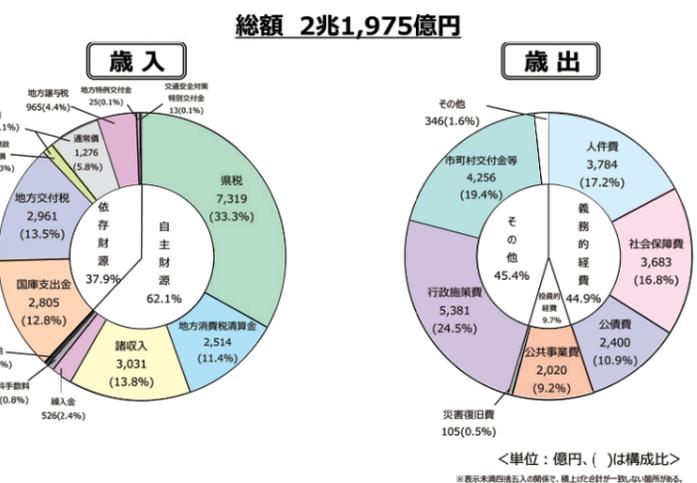
- 出産・子育て施策の充実・強化
○新基金「出産・子育て応援基金」の設置 (121億円)
→病児保育利用料の無償化、不妊治療費の助成へ充當
○男性の育児休業取得促進 (0.2億円)
○幼稚園・保育園等への運営支援 (385億円)
○幼児教育・保育の無償化 (103億円)
○子ども医療費の助成 (55億円)
○放課後児童クラブの運営支援 (43億円)

- 1,000億円の人づくり
○子どもたちに公立美術館等の無料鑑賞機会を提供 (1.4億円)
○公立中学校における休日の部活動の段階的な地域移行を推進 (0.9億円)
○県立高校におけるインクルーシブ教育システムを推進 (0.3億円)
○新設特別支援学校 (R6糸島、R7早良・宗像) の建設を推進 (55億円)
○「福岡県半導体人材リスクリテラシーセンター (仮称)」を改組・新設 (0.7億円)
○ひとり親など子育て女性の安定就業・収入向上を支援 (0.8億円)
○障がいのある人など就業機会を拡大 (1.8億円)
○働きやすい介護職場の認証制度を創設 (0.1億円)
○待機児童の解消を推進 (0.2億円)

- 県内GDP20兆円への挑戦
○北部九州自動車産業グリーン先進拠点プロジェクトを推進 (0.7億円)
○水素グリーン成長戦略を推進 (2.7億円)
○事業継承の実現に向けた取組を支援 (0.2億円)
○県産農林水産物の販売・消費を拡大 (1.8億円)
○国内観光需要を拡大 (3.6億円)
○福岡バイオコミュニティ形成を推進 (2.2億円)
○「福岡未来づくり住宅」を普及 (0.2億円)
○県有施設・公用車の脱炭素化を加速 (5.4億円)
○国際金融機能を誘致 (0.8億円)
○基幹的道路を整備 (167.8億円)
○福岡・北九州高速道路を整備 (18.3億円)

- 安全・安心で活力ある社会づくり
○ワンヘルスの啓発を強化 (1億円)
○動物保健衛生所の整備を推進 (0.5億円)
○高齢者施設等の感染防止対策を支援 (2.1億円)
○医療設備の充実を支援 (37.9億円)
○材料費高騰に伴う給食費の保護者負担を軽減 (11.8億円)
○流域治水の推進 (2.2億円)
○緊急輸送道路等の整備 (197.9億円)
○ため池等の安全対策を実施 (48億円)
○洪水・土砂災害防止、港湾の老朽化対策等を推進 (250.9億円)
○ステッカー対策の強化 (0.4億円)
○児童相談所の機能強化 (0.5億円)
○障がい児、医療的ケア児への支援 (2億円)
○県営公園にインクルーシブ遊具を設置 (0.2億円)
○「福岡県循環器病総合支援センター」を開設 (0.1億円)
○「ツール・ド九州2023」を開催 (2.7億円)
○新福岡武道館の建設を推進 (26.8億円)
○ふくおか健康づくり県民運動を推進 (3.3億円)
○近未来MaaS福岡モデルを創出 (1.1億円)
○賑わい愛されるふるさとの川づくりを推進 (1.2億円)
○空き家活用の相談体制を強化 (0.3億円)

令和5年度一般会計当初予算



福岡県内全ての方・病児保育が利用しやすくなります!

福岡市の方 ▶ 福岡市病児・病後児デイケア事業
利用料金 / 1日あたり
~令和4年度 2,000円
令和5年度~ 0円 (無料)
【対象年齢】福岡市内に居住する0歳~小学校6年生までのお子さま
【対象施設】小児科に併設された福岡市内21か所 (R5年3月末現在) の病児保育室
早良区 ▶ 松本小児科、わたなべ小児科、たかきあいこどもクリニック

インターネットで検索→申し込みが可能に!
病児保育は、定員に限りがあり、電話予約が必要など、利用しにくい制度でした。
県が新たにサイトを開設。インターネットで空き状況の確認や利用申し込みが24時間WEB上で可能 (随時導入) になりました!

福岡県病児保育支援システム「病児保育ナビ」
QR code for system access